

各位

株式会社北洋銀行

「観光遺産産業化ファンド」へ参画します

～株式会社地域経済活性化支援機構との連携・協力による観光振興支援～

北洋銀行は、株式会社地域経済活性化支援機構(以下 REVIC)のファンド運営子会社である株式会社観光産業化投資基盤が設立する「観光遺産産業化ファンド」に参画いたします。当行は道内での案件支援を通じて、北海道が掲げる2020年度の訪日外国人(インバウンド)来道者500万人の達成や、観光総消費額の増大に貢献してまいります。

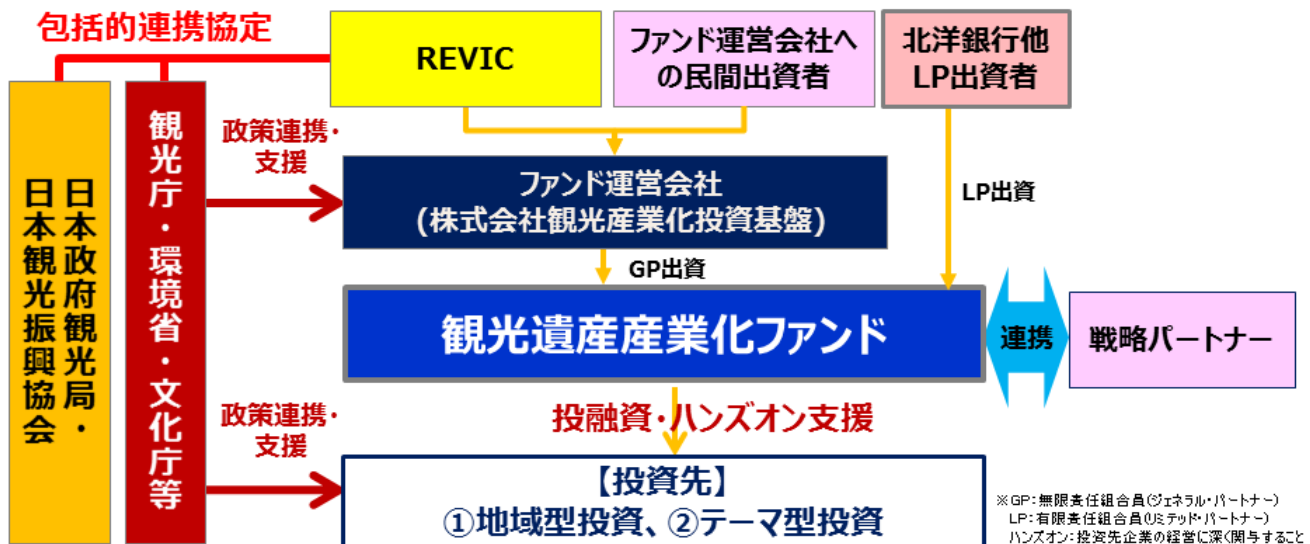
1. ファンドの目的

- (1) 観光遺産(文化遺産、自然遺産)を活用して地域活性化モデルを創出し、地方へのインバウンド誘客及び地域の観光消費額の増大に寄与する。
- (2) 本ファンドの活用により、REVIC、観光庁、環境省、文化庁、内閣府、日本政府観光局(JNTO)、公益社団法人日本観光振興協会、地域の金融機関や観光産業事業者(民間事業者)と協働で観光産業課題の解決に向けた取り組みを推進する。

2. ファンドの概要

- | | |
|----------------|---|
| (1) 名称 | 観光遺産産業化ファンド (観光遺産産業化投資事業有限責任組合) |
| (2) ファンド総額(予定) | 30億円 |
| (3) 業務運営者 | 株式会社観光産業化投資基盤(株主: REVIC、株式会社 AGS コンサルティング、凸版印刷株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・アド、株式会社 ANA 総研) |
| (4) 設立時組合構成員 | 株式会社北洋銀行、株式会社岩手銀行、株式会社横浜銀行、株式会社山梨中央銀行、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社観光産業化投資基盤 |
| (5) 戦略パートナー | 日本航空株式会社、JR 東日本株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、WILLER 株式会社 |
| (6) 設立日 | 2019年6月19日 |
| (7) 存続期間 | 8年間 |
| (8) 投資対象 | ①観光遺産を活用した地域経済活性化のモデルケース創出に資する事業者
②民間参入が困難な観光遺産に関係する公的観光施設活用に資する事業者
③観光産業の課題解決のための基盤整備に資する事業者 |

3.スキーム図



4.REVIC の概要

名称	株式会社地域経済活性化支援機構 Regional Economy Vitalization Corporation of Japan (略称 REVIC)
設立	2009年10月14日〔株式会社企業再生支援機構として〕 ※2013年3月18日に商号変更
本社所在地	東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル9階
資本金	131億380万円
株主	預金保険機構、農林中央金庫
役職員数	266名(2019年1月1日時点)
代表者	代表取締役社長 林 謙治
子会社	REVIC キャピタル株式会社、REVIC パートナーズ株式会社、株式会社日本人材機構

以上